

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

安芸高田市の未来につなげるプロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

広島県安芸高田市

3 地域再生計画の区域

広島県安芸高田市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

安芸高田市は、広島県の中北部に位置する人口 29,488 人(平成 27 年国勢調査)の市である。市の中央部を江の川が貫流し、周辺に盆地が形成され、その周りを丘陵が囲む、水と山々や田園の緑とが調和した、細やかで落ち着いた景観を形成している。

安芸高田市では、1975 年以降人口減少が続き、特に 2010 年までの 35 年間で生産年齢人口は約 3 割減少し、年少人口は約 5 割減少している。それに対し、老年人口は 9 割近く増加しており、少子高齢化の進行が顕著である。

自然動態については、1980 年から 2005 年にかけて自然減少が大きく拡大し、それ以降、概ね年間 240～360 人位の減少が続いている。2020 年において▲361 人の自然減となっている。社会動態については、1980 年以降 100 人前後の社会減で推移しており、2019 年に 42 人の社会増に転じたものの、再び 2020 年において▲78 人の社会減となっている。

4-2 地域の課題

人口減少の原因としては、近年の出生率の低迷と未婚率の高さ、15～19 歳の若者の転出超過とその後の U・I ターンの少なさが挙げられる。

出生率については、2002 年に 1.47 まで低下した後 2012 年に 1.66 まで改善してきたが、さらに上げていかなければならない。

未婚率については増加傾向にあり、2010年には女性の25～29歳で5割を超え、30～34歳で3割を超えており、男性の40～44歳でも3割を超えている。

若者の転出超過については、20～24歳、25～30歳でU・Iターンの動きが見られるが、15～19歳の転出超過を埋めるまでには至っていない。

このまま人口減少が進行すると、税収の減少、公共施設の維持管理費用の負担増、各学年ごとの学級の維持困難、小売事業所数の減少などの課題が生じる恐れがある。

4－3 課題解決のための取組

上記の課題に対応するため、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、誰もが置き去りにされることなく住み続けられる基盤をつくる取組等を通じて、出生率の増加や未婚率の改善を図り、自然減に歯止めをかける。また、地域ぐるみで若者を応援し、若者と地域の関わりをつくる取組等を通じて、U・Iターン者の増加を図り、転出超過の割合を縮小する。こうした取組により、今後も安芸高田らしさを維持しながら、持続的な発展を実現する。

- ・基本目標1 安心して住み続けられる環境をつくる
- ・基本目標2 人をつなげる
- ・基本目標3 ここにしかない歴史・文化を未来につなげる
- ・基本目標4 循環の「環」をつなげる

【数値目標】

5－2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	合計特殊出生率（推計）	1.52	1.80	基本目標1
イ	人口の社会増減	+9人	+30人	基本目標2
ウ	観光入込客数	1,637千人	2,500千人	基本目標3
エ	地域経済循環率	74.7%	85.0%	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

5－2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

安芸高田市の未来につなげるプロジェクト

ア 安心して住み続けられる環境をつくる事業

イ 人をつなげる事業

ウ ここにしかない歴史・文化を未来につなげる事業

エ 循環の「環」をつなげる事業

② 事業の内容

ア 安心して住み続けられる環境をつくる事業

誰もが置き去りにされることのない、持続可能で多様性のある社会を実現するために、本市に暮らす全ての人が安心して暮らすことができる基盤をつくるために、以下のテーマに取り組む。

- (ア) 安全・安心な生活環境を整える
- (イ) 安心して産み、育てる環境を整える
- (ウ) 県内トップレベルの学習環境を整える
- (エ) 充実した医療環境を整える
- (オ) 高齢者が安心して暮らせる環境を整える
- (カ) 障害者安心して暮らせる環境を整える
- (キ) 外国人が安心して暮らせる環境を整える 等

イ 人をつなげる事業

地域でこれまで行ってきた産業、地域の営み、伝統芸能を持続可能にするため、地域にいる人同士を繋ぎ、外にいる人と地域を繋ぎ、次の時代をつくる担い手を育てるために、以下のテーマに取り組む。

【生き生きした活動を支援する】

- (ア) 農業を持続可能にする
- (イ) 商工業を持続可能にする
- (ウ) 地域の活動を持続可能にする

(エ) 地域の文化・歴史を持続可能にする 等

【若者と地域をつなげる】

(ア) 小中高生と地域をつなげる

(イ) 新社会人と地域をつなげる 等

【本市で挑戦する人を応援する】

(ア) 就職したい人を応援する

(イ) 農業を始めたい人を応援する

(ウ) 起業したい人を応援する

(エ) 新しいスタイルの生活を始めたい人を応援する

(オ) 本市に貢献したい人を結び付ける 等

ウ ここにしかない歴史・文化を未来につなげる事業

この地域にしかない歴史、特徴的な文化、中国山地の山あいの農村地域ならではのスローライフなどの魅力を多くの人に知ってもらい、多くの安芸高田ファンをつくるために、以下のテーマに取り組む。

【「この地域ならではの」を磨き、伝える】

(ア) 「この地域ならではの」のライフスタイルの魅力を伝える

(イ) 「この地域ならではの」の歴史・文化等の魅力を磨く 等

【「この地域ならではの」を楽しむ基盤をつくる】

(ア) 日本人も外国人も「この地域ならではの」の魅力を楽しめる基盤を整える 等

エ 循環の「環」をつなげる事業

中山間地域の特徴を活かした、持続可能な循環型社会をつくるために、以下のテーマに取り組む。

【地域に循環の「環」をつくる】

(ア) 森林・農業・畜産の資源循環を進める

(イ) 廃棄物の資源利用、エネルギーの循環を進める

(ウ) 使われなくなった施設・モノを再利用する

(エ) 地産地消で地域内の経済循環を進める 等

※ なお、詳細は第2次安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4 の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

4,280,000 千円（2020 年度～2025 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度 7 月以降に、安芸高田市総合計画審議会による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。

検証後速やかに、安芸高田市公式 W E B サイトで公表する。

⑥ 事業実施期間

2020 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

5－3 その他の事業 該当なし

6 計画期間

2020 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで